

東北と北海道 経済交流探る

仙台でセミナー

小樽商科大（北海道小樽市）は27日、東北と北海道の経済交流を探るセミナー「ソーシャルサイエンスカフェ」を仙台市で開いた。2031年春に予定される東北・北海道新幹線の札幌延伸を見据えた事業の第1弾で、約20人が参加した。近藤公彦副学長がマーケティングについて講義。「市場での販売シェアよりも、

講演する近藤副学長



ある顧客が購入する商品のうち自社商品が占める割合『顧客シェア』を高めようとするのが、顧客との関係づくりや利益拡大につながる」などと解説した。江頭進副学長も登壇し「新幹線は魔法の道具ではなく、地域間の元々の関係が強ければこそシナジー効果を生む」と訴えた。

セミナーは10月11日、11月1日にもあり、小樽商大の教授が地域ブランドの活用や防災の研究について講演する。ともに青葉区のアエル28階会議室で午後7時から。参加無料。